

第1回 里地里山保全・活用検討会議資料

生物多様性の視点に立った自然資源 の管理・利活用方策の検討について

環境省 自然環境局
自然環境計画課
平成20年11月12日

里地里山の保全・利活用の推進に向けた検討の論点・方向性

- 里地里山は国土の4割を占める広大な地域。自然の遷移にゆだねることを基本とする地域と里地里山として積極的に維持すべき地域について検討を進めることが必要。
- 行政の複数分野で施策が講じられているが、これらの統合的・重点的な施策展開が必要。
- 里地里山の資源を活用した新たな産業活動の芽生えもみられるが、広大な里地里山全体の自然資源を必要とするまでは発展していない
- 地域社会の最小単位による里地里山を維持する能力の減退が見受けられる一方、それに代わる新たな社会の仕組みが構築されている例は少ない。
- 里地里山は土地の所有や利用の形態が複雑で、私権に関わる部分が多いため、行政のみの対応策には限界。
- 里地里山の生物多様性の保全には継続的で持続可能な人為の関与が必要。そのためには資金・労力の継続的投入が必要。
- 里地里山の保全・利活用の効果を計るための分かりやすい指標が未確立。
- 里地里山の人間の福利に対する価値や持続的管理により創出される価値に対する国民の理解が進んでおらず、管理に必要な資金・労力の確保への国民の責務が不明確



里地里山の保全・利活用の推進に向けた検討の論点・方向性

里地里山の生物多様性保全に果たす役割に対する国民の理解の向上

里地里山の生物多様性保全と持続的利用による価値の評価手法の確立

里地里山の管理に対する資金・労力を継続的に担保し得る新たな社会的枠組みの構築

里地里山の新たな産業的価値の創出と産業の振興方策

里地里山の保全・利活用の推進方策の検討手順（フロー）

現状・課題のレビュー

既存の情報から下記について整理

ア 里地里山の自然状況及び社会状況の現状把握と課題の抽出

イ 里地里山の保全・利活用の取組の現状把握と課題の抽出

里地里山の保全・利活用の推進に向けた課題の整理

- ・里地里山保全再生モデル事業調査の結果
- ・各種統計資料・既存調査資料
- ・国・地方自治体・活動団体・企業の取組の現状と課題の整理

等

里地里山の保全・利活用による価値の評価方法の検討

里地里山の人間の福利に対する機能の捉え方の検討

保全・利活用による地域の生物多様性保全の効果の捉え方（指標の設定）の検討

管理活動による価値の創出の評価方法の検討

産業的利用による価値の創出の評価方法の検討

里地里山の生物多様性の質を高めるための管理・利活用手法の検討

管理活動における生物多様性保全手法の検討

ふれあい活動、エコツーリズムでの利用における生物多様性保全手法の検討

地域の生業における生物多様性保全手法の検討

バイオマス利用における生物多様性保全手法の検討

等

事例調査の実施と価値評価の試行的実施

事例調査の実施（価値評価と課題抽出に必要な情報の収集）

価値評価の試行的実施

活動の持続可能性に対する課題の抽出

里地里山の保全・利活用の推進方策(案)の検討

保全・利活用の推進による生物多様性保全の効果の検討

管理活動の持続性を支える社会的枠組みの構築方策の検討

産業的利用の推進方策の検討